

介護職員初任者研修カリキュラム（科目別シラバス・科目的特徴）

事業者 株式会社建築資料研究社

研修事業の名称 日建学院 介護福祉初任者研修（通学）

1 職務の理解(6時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	3時間	《講義内容》 国の施策の動向と、介護・介護保険制度の意義を理解し、介護職のあるべきイメージを理解するとともに、科目構成と科目の相互の関連性等全体像を理解する。介護保険サービスと介護保険外サービスを理解する。
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3時間	《講義内容》 多様なサービスと介護職の仕事内容・働く現場の理解するとともに、介護職の資格体系を見直しキャリアパスを学ぶ。ケアプランの位置づけに始まるサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ・多職種、介護保険外サービスを含めた地域の社会資源の連携の学習。 《演習内容》グループワーク（課題：訪問・施設等、それぞれの職場における介護の違いを理解し、グループごとに整理しそれぞれの性質を理解する）
合計	6時間	
2 介護における尊厳の保持・自立支援(9時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	5時間	《講義内容》 介護職の基本理念である「基本的人権」及び「個人の尊厳」を理解する。QOL、アドボカシー・エンパワメント及び介護におけるICF、ノーマライゼーションの理念等理解を深める。高齢者虐待防止法を理解し、身体拘束、および利用者の尊厳、プライバシーを傷つける介護を知る。個人の権利を守る制度、個人情報法保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業を学ぶ。 《演習内容》グループディスカッション（課題：人権と尊厳を守るとはどういうことか、守るためにはどうしたらいいのかをグループ討議の上、発表し理解を深める。）
②自立に向けた介護	4時間	《講義内容》 専門職として求められる「自立」と「自律」の理解。自立支援のための介護方法および介護予防の意義と方法を学ぶ。 《演習内容》グループディスカッション（課題：事例を提示し、望める自立とは何か、そのためにどのような支援が適切かを意見を出し合い発表する。）
合計	9時間	
3 介護の基本(6時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2時間	《講義内容》 介護職に求められる専門性と介護環境の特徴を理解し、利用者主体の支援、根拠ある介護等基本的な知識を学ぶ。異なる専門性を持つ専門職種と、多職種によるチームケアにおける機能と役割を理解する。

②介護職の職業倫理	2時間	《講義内容》 法令遵守、利用者の尊厳と自己決定、及び日本介護福祉士会の倫理綱領等から介護の専門職としての社会的責任と姿勢、プライバシーの保護を理解する。 《演習内容》グループワーク（課題：介護職の専門性を整理し、専門性を理解した上で介護職の倫理観は何かをさぐる。）
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	1時間	《講義内容》 介護における安全確保の重要性と、リスクマネジメントを理解する。感染に関する正しい知識、及び危険予知と事故予防、事故発生時の緊急対応を具体的事例から学ぶ。
④介護職の安全	1時間	《講義内容》 介護職の健康管理の重要性を理解し、介護職に起こりやすい健康障害、腰痛、感染症の予防等を学ぶ。
合計	6時間	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携(9時間)

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	2時間	《講義内容》 わが国の社会的背景を理解し、介護保険制度の意義、成立と導入後の動向を学ぶ。また、制度の基本的仕組み、制度を支える財源、組織・団体の機能と役割、サービスの種類、利用の流れ、年金制度等を学ぶ。
②医療との連携とリハビリテーション	2時間	(1) 医行為と介護 (2) 訪問 (4) その他 《講義内容》 服薬、健康チェック、ストーマ、経管栄養等の高齢者医療及び医療行為と介護、訪問看護等、看護と介護の役割・連携を理解する。
	3時間	(3) リハビリテーション 《講義内容》 リハビリテーションの理念、意義、種類、経過等を理解する。
		《演習内容》グループワーク（検討） （課題：医療・リハビリテーション現場の事例や時事問題）
③障害者総合支援制度及びその他の制度	2時間	《講義内容》 障害者福祉の背景と動向を学び、障害者自立支援制度の仕組み・理念・概要と目的を理解する。また、成年後見制度等個人の権利を守る制度の概要や目的も学ぶ。
合計	9時間	

5 介護におけるコミュニケーション技術(6時間)

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護におけるコミュニケーション	3時間	《講義内容》 コミュニケーションの意義と目的、利用者・家族への対応、状況・状態に応じた手法と、コミュニケーションの技法・道具を用いた言語的コミュニケーションを学ぶ。 《演習内容》ロールプレイ（二人一組になり、言語・非言語コミュニケーションを体験する）